



# 『純美』

2月号 (NO. 10)

文責 校長 久保和彦

学校教育目標は

「**純美にして ファイトに富む学校**」

～生きる力を身につけ、自ら未来を切り拓く生徒の育成～

< めざす生徒像 >

- ① 自分も他人も大切にする優しい生徒
- ② 心豊かな生徒
- ③ 何事にも本気で取り組む生徒
- ④ 根気強く努力できる生徒
- ⑤ 主体的に行動する生徒
- ⑥ 集団規範が身についた生徒

## 立志式での話

令和3年1月21日(木)に立志式を行いました。その時参加されていたある保護者の方から「校長先生の話良かったです。」と言われて非常に嬉しくなりましたので、以下に紹介します。ちょっと長くなりますが読んでみてください。

### 生きることは求めること

昔、ある国に、国民の幸せを本当に考えて国を治めていた王様がいまして。やがて自分の命があまり長くない、と悟った王様は、国中から学者を集めて言いました。

「わしは自分の死後も、国民が幸せに生きていけるようになるために、何かを残したい。そこで、生きるとはどういうことか、について一冊の本にまとめてくれないか」

学者たちは、王様の命が長くないことを感じ、徹夜に徹夜を重ねて、一冊の本にしました。

「王様、生きるとはどういうことか、について、まとめました。お読みください」

しかし、その時、王様には一冊の本を読む気が残っていませんでした。王様は言いました。

「今の私には、この本を読む力はない。一枚の紙にまとめてくれないか」学者たちは考えに考え、一枚の紙にまとめて王様のところに持っていきました。ところが王様にはもう、その一枚を読む力さえ残っていませんでした。王様は消えゆくような声でつぶやきました。

「もう、この一枚すら読めない。教えてくれ、生きるとはどういうことか、一言で言ってくれ」

学者たちは、王様の部屋の外で話し合いました。やがて、代表者が王様の耳元で、静かにささやきました。

「王様、生きるということは」

「生きるとはなんだ！」

「生きるとは、一言でいえば『求める』ということでございます」

王様はそれを聞いて、ほっとしたように大きくなすき、やがて静かに息を引き取りました。

生きることは、求めること。



皆さんは今、求める何かを持っていますか。持っていると感じている人は、それをあきらめずに追究し続けることです。持っていないと思っている人は探しましょう。優れた本の中に、優れたテレビ番組や映画の中に、めぐり会う人の話の中に、きっと求めている本物があります。

本物の真理を求めましょう。本物の善い行いを求めましょう。本物の美しさを求めましょう。求めていく人の周りには、必ず求める人が集まってきます。よい友を得たいと思ったら、自分から求め続ける人になることです。

最後に、進路という言葉の意味を考えて見ましょう。

進むべき道・・・「進路」

心を磨く道・・・「心路」

人としての芯を作る道・・・「芯路」

真実に近づく道・・・「真路」

より良く伸びゆく道・・・「伸路」

信じ合う道・・・「信路」

絆を深める・・・「深路」

どんな「新路」が待っているか、これからが楽しみです。君たちの今後の活躍に期待します。

## 神埼市青少年主張大会



令和3年1月31日(日)に神埼市中央公民館大ホールで、神埼市青少年主張大会が行われました。今回は、新型コロナウイルス感染症予防対策のため、規模を縮小し小中学生10名のみでの発表となりましたが、多くの皆さんが主張を聞きに来ていただきました。どの発表も現在の自分の体験や意見を中心に考えられた主張でしたので、非常に勉強になりました。本校からも1年生の有馬妃香さんが、「神埼市が心地よいと思えるように」というテーマで立派な発表をしてくれました。会場は新型コロナウイルス感染症対策で、入場者全員の体温を計ったり、飛沫防止用のパネルパーテーションを置いたり、

一人一人発表毎にマイクを変えて消毒したりする等の徹底した予防対策がされていました。

以下に、学校代表で発表した有馬さんの主張を紹介します。

### 神崎市が心地よいと思えるように

皆さんは今住んでいる神崎市を心地よいと思えていますか。私は神崎市が大好きですが、理想と違うところもあります。



登校する時や下校する時に、ここは思いやりがある市だろうか、と思うことがあるのです。エコバックを持ったり、レジ袋にお金がかかったりする今の世の中、美しい環境を守ろうと世界中が考えている中でゴミを平気で捨てる人がいます。登校する時に見掛けるとイヤな気持ちになり、注意をしたいと思いますが子どもの私の話は聞いてもらえないだろうと諦めてしまいます。

また、私は誰にでも挨拶をするように心がけていますが、あいさつをしても返事をしてもらえないことがあります。もし、神崎に住んでいる方全員があいさつをしっかりとするようになったら、神崎がもっと明るくなるだろうと思います。近所の方や顔見知りの人だけでなく、すれ違ったらあいさつすることを全員が意識することで笑顔があふれるのではないのでしょうか。

今、私たちの学年は、神崎ふるさと学習をしています。神崎のことについて調べ、まとめることで神崎のいいところをたくさん知ることができています。歴史、観光、特産品、偉人などを調べる度に「神崎はいいところだな。」と感じます。学校で学んだことを多くの人に伝え、住みたいと思ってもらいたいです。



私たちの学校の校長先生は、「生徒一人一人が神崎中学校です。」とよくおっしゃいます。ならば、神崎市も「住んでいる一人一人が神崎市だ。」と思うのです。しかし、このままだと神崎の未来はゴミが散らかり、近所の方とも話す機会がなくなってしまうかもしれません。そんなことにならないための方法は、神崎市民全員がボランティア精神を持つことだと考えます。ボランティアとは、自分以外の人のために行動することです。ゴミ拾いやあいさつ運動を行うことで、美しい神崎になると思いますし、心も美しくなるでしょう。さらに近所の方を誘って協力することで絆や団結力も生まれると思います。そうするとボランティア以外でも交流する機会が増え、市民がどんどん仲良くなるのではないのでしょうか。今後引っ越してくる人や留学してくる人に神崎が住みたい市として選ばれるようになってほしいと思います。

神崎の良いところもたくさんあります。私が日々ありがた

いと思っているのは、「小学生見守り隊」の方々です。小学生が歩いていくのを後ろでサポートしたり、歩道からはみ出さないように注意したりと私たちを支えてくださっています。私が小学生のときも信号が赤から青になる間によく話しかけてくださった見守り隊の方がいます。その方はおもしろい話をして、笑わせてくださり、登校時間に遅れそうになっていると「ちょっと急いだ方がいいよ。」と声をかけながら、暑い日も寒い日も町に立っていらっしゃいました。今思えば、私たちに对する温かい心づかいが感じられ、ありがたい限りです。神崎市には市民のために動いてくれる人がいて、本当に良い市だなと思います。

今、私は人の優しさに助けられることが多いです。神崎市をもっといい市にするためには、一人一人が人のために行動することが大切だと考えます。そのため、私はこれからもあいさつを続け、ボランティアや市の行事には積極的に参加したいと思います。私が大人になったとき、住みたい町といえれば神崎、とみんなが言えるように周りの人たちにも呼びかけながら神崎のために行動していきたいと思っています。

<心の泉>

厄介なのは知らないことではなく、知らないのに知っていると思ひ込むことだ <マーク・トウェイン (小説家)>

## 3月の行事(予定)

- 2日(火) フッ化物洗口 県立一般選抜入試事前指導
- 3日(水) 県立高校一般選抜入試(1日目)  
クラスマッチ(1年)
- 4日(木) 県立高校一般選抜入試(2日目)  
クラスマッチ(2年)
- 5日(金) 3年生修了式 卒業式練習 卒業式準備
- 6日(土) 卒業証書授与式
- 9日(火) 県立高校一般選抜入試追試験
- 11日(木) 県立高校一般選抜入試合格者発表  
職業人講話(1年)
- 15日(月) 各部委員会
- 16日(火) フッ化物洗口 学校支援連絡協議会
- 17日(水) 生徒集会 学年末学年PTA  
県立高校2次募集・追々試験
- 19日(金) 県立高校2次募集・追々試験合格発表
- 23日(火) 大掃除
- 24日(水) 修了式 辞任式
- 25日(木)~31日(水) 学年末休業日
- 28日(日) 神崎市長旗全国選抜中学校剣道大会



現時点での来月の予定を記載しております。新型コロナウイルスの感染防止の休校等の対策により、年度当初お配りした年間行事予定より、多くの行事が変更になっております。今後、新型コロナウイルス感染症の流行によっては、再度変更になることもあると思います。その時は、決定次第再度連絡をさせていただきますので、予定変更の可能性があるので十分にご理解いただくようお願いいたします。